

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和3年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値				
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	3年度実績	3件	4	A	館設定の目標値は、館への寄付申込があったもののうち、館が受け入れを認めたものの件数 新たに受入れた資料のデータベース公開 館設定の目標値は、概ね週1回保守・管理作業を実施するよう設定
					館設定の目標	3件			
			2	資料の情報化・公開実績	3年度実績	2,038点	4		
					前年度実績	2,035点			
			3	資料の保守・管理の実施	3年度実績	53点	4		
					館設定3年度の目標	53点			
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	3年度実績	1件	4		
					要望のあった件数	1件			
			5	館内利用(学術調査等)	3年度実績	0件	/		
					要望のあった件数	0件			
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	3年度実績	3件	4		
					要望のあった件数	3件			
		調査研究	7	調査事業件数	件数	3年度実績	19件	4	
					館の計画	19件			
			8	共同調査事業件数	件数	3年度実績	0件	/	
					館設定3年度の目標	0件			
			9	研究成果の公開状況	論文研究報告	3年度実績	4件	4	
						前年度実績	4件		
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	・収蔵資料について、画像とテキストを配置させたデータベースを追加作成し、引き続き利用者の利便性の向上に努める。 ・展示資料を適切に維持管理することにより、実験装置等の稼働率を向上し、今後も利用者の満足度を高めるよう努める。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	3年度実績	39,446人	4	A	「オンラインプラネタリウム」へ変更
						前年度実績	17,057人			
			2	企画展 カ・ラ・ク・る—歯車が伝える動き—	入館者数	3年度実績	4,694人	4		
		前年度実績				0人				
		3	企画展 プラネタリウム上映会	入館者数	3年度実績	0人	/			
					館設定3年度の目標	0人				
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	3年度実績	4回	4		
						館設定3年度の目標	4回			
			5	企画展 カ・ラ・ク・る—歯車が伝える動き—	実施回数	3年度実績	1回	4		
館設定3年度の目標	1回									
6	トピックス展等	実施回数	3年度実績	8回	4					
			館設定3年度の目標	8回						
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	/	/				
				3年度実績	90%		4			
	9	トピックス展等	3年度実績	/	/					
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<p>・企画展はコロナ禍での開催となったが、感染症対策をしながら可能な範囲でハンズオン展示も行い利用者から高評価を得ることができた。アンケートでは「実際に歯車を回し、沢山の仕組みで動いていることがわかり感動した」「体験できるオルゴール歯車が素晴らしい」など、体験ができたり音楽が流れたりするコーナーが好評だった。一方「成瀬政男氏について、千葉県出身のこんな偉人がいたことを知った。さらに調べてよく知ろうと思う」などの感想もいただき、千葉県ゆかりの展示も興味深く見学してもらえたようである。</p> <p>・トピックス展では宇宙に関連した展示のほか、鉄道や車関係、他の部局と連携したパネル展等を実施した。宇宙関係の展示は子ども達に大変人気があり、鉄道や車関連の展示は愛好家の興味・関心を集めた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館者制限を行うとともに一部の体験型展示が閉鎖された。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間は演示実験も中止した。</p>									
III	財源の確保	1	入場料収入	達成率	3年度実績	33%	1	B		
					館設定3年度の目標	100%				
		2	外部資金の獲得	件数	3年度実績	1件	4			
					館設定3年度の目標	1件				
大項目IIIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	<p>・新型コロナ感染症対策の継続を余儀なくされ、入場制限や開館時間の短縮等の影響により入場者は目標設定を下回った。</p>									
IV	広報活動の積極的な展開	1	HP等の情報発信	アップ数	3年度実績	106回	3			
					前年度実績	116回				
		2	HPでの利用状況	アクセス数	3年度実績	136,495件	4			
					前年度実績	90,036件				
		3	報道機関への情報発信	取材件数	3年度実績	9件	4			
					前年度実績	9件				
大項目IVの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	<p>・新型コロナウイルス感染状況への館内の展示状況や施設利用の状況が目まぐるしく変化するなか、タイムリーな館内情報の発信に努めた。</p> <p>・HPアクセス件数増は、追加実施した「オンラインプラネタリウム」の影響等が考えられる。</p>									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値			
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	3年度実績	11校	4	A
					前年度実績	0校			
			2	入館者数	3年度実績	278人	4		
					前年度実績	0人			
			3	生徒・児童	入館者数	3年度実績	122人	4	
		前年度実績				0人			
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	3年度実績	6校	4		
					前年度実績	0校			
		5	利用者数	3年度実績	330人	2			
				前年度実績	476人				
地域関係団体との連携	6	団体数	3年度実績	10団体	4	B	展示・運営協力会		
			前年度実績	0団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	3年度実績	1回		4	展示・運営協力会事業	
				前年度実績	0回				
	8	利用者数	3年度実績	2,138人	4				
			前年度実績	31人					
9	友の会活動	利用人数	3年度実績	0人	1				
			前年度実績	0人					
10	ボランティア活動	活動延人数	3年度実績	40人	2	パイロット体験(研修) イベントボランティア(研修) 図書室ボランティア			
			前年度実績	67人					
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	<p>・連携事業として昨年度中止となった「展示・運営協力会」の展示会を、感染症対策を施しながら開催した。 ・感染状況の改善が大きく見られないながらも、最新の知見に基いた感染症対策を施し、学校団体の受入れを開始した。またオンラインを活用した科学学習を学校に対して行い、のべ330名の児童が参加した。講義を交えた工作教室を実施し、特にオンラインの強味を活かし、スライドの上映や、説明時に講師の手元をアップにするなどの画面操作により、参加者により分かりやすくなるよう工夫した。参加した学校の教諭からは「児童の理科への興味関心が高まった」「身近にある道具について科学的見地から説明を受けた部分と、それを応用して素敵な工作物を作成し児童に喜んでもらえたところ(がよかった)」など好評であった。</p>								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値					
VI	教育・普及活動	来館状況	1	講演会	参加者数	3年度実績	0人	/	A		
						前年度実績	0人				
			2	公開講座	参加者数	3年度実績	7人	4			
						前年度実績	0人				
			3	クリスマス実験講座	参加者数	3年度実績	85人	4			
						前年度実績	46人				
			4	体験教室	光るスライムをつくろう	参加者数	3年度実績	25人			4
						前年度実績	18人				
		5	体験教室	きらきらミラーキューブをつくろう	参加者数	3年度実績	23人	4			
					前年度実績	17人					
		6	体験教室	不思議なステンドグラスをつくろう	参加者数	3年度実績	18人	4			
					前年度実績	17人					
		7	たんけん科学館	参加者数	3年度実績	/	/				
					前年度実績	/					
		8	解説ツアー	参加者数	3年度実績	/	/				
					前年度実績	/					
		総合的な満足度	講演会	参加者数	3年度実績	/	/				
前年度実績	/										
満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	100%				4						
公開講座	参加者数		3年度実績	98%	3						
			前年度実績								
クリスマス実験講座	参加者数		3年度実績	100%	4						
			前年度実績								
体験教室	光るスライムをつくろう	参加者数	100%	4							
		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	100%	4							
体験教室	きらきらミラーキューブをつくろう	参加者数	100%	4							
		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	100%	4							
不思議なステンドグラスをつくろう	参加者数	3年度実績	100%	4							
		前年度実績									
たんけん科学館	参加者数	3年度実績	/	/							
		前年度実績	/								
解説ツアー	参加者数	3年度実績	/	/							
		前年度実績	/								
利用状況	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	3年度実績	162件	4						
			前年度実績	150件							
大項目VIの総合評価(A~D)							A				
博物館コメント	・館内での工作教室は、コロナ対応のため多くの制約があり、消毒や換気、マスクやフェイスシールド・手袋の着用など職員の感染症対策にも留意し、規模の縮小や時間の短縮などを行いながら実施した。 ・一般参加型のクイズラリー(「たんけん科学館」)・解説ツアーについては実施を見合わせた。										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値		
Ⅵ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	3年度実績	7人	4	A			
					前年度実績	7人					
			2	教員等の研修	3年度実績	8人	4				
					前年度実績	0人					
			3	職場体験	3年度実績	0人	/				
					前年度実績	0人					
			4	インターンシップ	3年度実績	0人	/				
					前年度実績	0人					
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	3年度実績	2回		4		
						館の計画	2回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	3年度実績	2回		4		
						館の計画	2回				
大項目Ⅵの総合評価(A~D)						A					
博物館コメント	教職員研修については今年度実施が可能となり、プログラミング講座や館内見学を行った。										
Ⅶ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	3年度実績	0団体	/	A			
					前年度実績	0団体					
			2	外国人来館入込	3年度実績	50人	4				
					前年度実績	13人					
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A					
博物館コメント	・多言語対応として、当館の館内音声ガイド「不思議のタネ」を英語に翻訳し、常設展示の英文解説情報をQRコードを介して提供するサービスを今年度から開始した。										
Ⅷ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	3年度実績	4件	4	A		
						館設定3年度の目標	4件				
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	3年度実績	15,638件	4			
						館設定3年度の目標	1,000件				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	3年度実績	11回	4			
						前年度実績	0回				
			4	デジタル・デバйд解消のための対策	実施回数	3年度実績	1回	4			
						館設定3年度の目標	1回				
			大項目Ⅷの総合評価(A~D)							A	
			博物館コメント	・コロナ禍で、中止が続いた演示実験への周知理解を図るため、今年度は、演示実験の動画2番組を新たに当館公式YouTubeチャンネル上で配信した。 ・プラネタリウム上映会が中止になったことから、代替事業として当館公式YouTubeチャンネルに360°パノラマ映像の視聴が可能な「オンラインプラネタリウム」を期間限定で配信し、13,039件の視聴があった。							

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
X	その他	コロナウイルス感染症対策	1	館内消毒の実施等感染対策実施	3年度実績	305日	4	A	実験装置、手すり、ドアノブ等の定時及び適時の消毒
					館設定3年度の目標	305日			
大項目Xの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	「ハンズオン展示」や手すり、机、イスなど来館者が手に触れる箇所に対して、今年度末までに「抗菌施工」を完了した。								

総合評価(A~D) [各達成度の平均]							A	
総合評価と次年度への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンズオン展示が常設展示の多くを占め、また演習実験や実験工作教室など来館者との対面でのワークショップを主要な教育普及事業として位置づけてきた当館にとって、感染症のため多くの制約を受けたことによる入場者数の減少は昨年度に引き続き解消されなかった。 ・入場者数増には直接結び付かないものの、オンラインによる体験教室、講座、動画配信などに努め、県民に安全に科学の魅力を伝える取組を充実させた。 ・昨年度中止となった企画展や展示・運営協会の展示については、今年度はコロナ対策を施して開催することができた。 ・次年度は、プラネタリウム上映会や休止中のハンズオン展示について順次再開できるよう感染症の最新情報に留意し、ウィズコロナの中での安全な感運営と事業充実の両立を図る。 							